

ファミレスで配膳ロボに礼を言う

今川 昇

いつの世も甘いささやき蟻地獄

田中 たづ子

足りぬ手に介護ロボット出番待つ

竹本 タエ子

しわしわのキャンバスに描く眉いびつ

藤井 節子

ぎこちなく立った茶髪が席くれた

佐藤 哲夫

ふぁみれすではいぜんろぼにれいをいう

いまがわ のぼる

いつのよもあまいささやきありじごく

たなか たづこ

たりぬてにかいごろぼつとでばんまつ

たけもと たえこ

しわしわのキャンばすにかくまゆいびつ

ふじい せつこ

ぎこちなくたったちやぱつがせきくれた

さとう てつお

木蓮や夜空をつれて白極む

村龍 富子

立ち漕ぎの学生の背や風薫る

林 美津江

水鳥の足裏見せて波を蹴る

貞弘 和子

滑り台の子ら連なりて風五月

林 保江

花冷えや袖口ゆるき割烹着

河野 怜子

もくれんやよぞらをつれてしろきわむ

むらたき とみこ

たちこぎのがくせいのでせやかぜかおる

はやし みつえ

みずどりのあしうらみせてなみをける

さだひろ かずこ

すべりだいのこらつらなりてかぜごがつ

はやし やすえ

はなびえやそでぐちゆるきかっぽうぎ

かわの れいこ

わが生家代々受け継ぐ地蔵尊
甥は丁寧に洗い清める

河野 敬子

強い陽に負けじとのびるタンポポの
葉のトゲトゲに夏隠れてた

山口 正子

若葉もえ寺の薨に風光る
未来の希望に光る自転車

末永 敦子

梅が香に春の喜び感じつつ
早春賦の歌口からこぼるる

椎木 道子

亡き夫が蝶々が来ちよると気にしてた
椿の花がようやくやく開く

福江 博子

わがせいかだいうけつぐじぞうそん
おいはていねいにあらいきよめる

かわの としこ

つよいひにまけじとのびるたんぽぽの
はのとげとげになつかくれてた

やまぐち まさこ

わかばもえてらのいらかにかぜひかる
みらいのきぼうにひかるじてんしゃ

すえなが あつこ

うめがかにはるのよろこびかんじつつ
そうしゅんふのうたくちからこぼるる

しいぎ みちこ

なきつまがちょうちよがきちよるときにした
つばきのはながようやくやくひらく

ふくえ ひろこ

不時着したら朝だった

岡村 裕司

キッチンカー迷っている五百円玉

松下 満江

ため息一つ 上を見る

権代 祥一

子守したあの孫がスマホを教えてくれる

田中 律子

順番待つ車中それぞれの退屈

西岡 悦子

ふじちゃくしたらあさだった

おかむら ひろし

きっちんカーまよっているごひやくえんだま

まつした みつえ

ためいきひとつ うえをみる

ごんたい しょういち

こもりしたあのこがすまほをおしえてくれる

たなか りつこ

じゅんばんまつしゃちゆうそれぞれのたいくつ

にしおか えつこ